

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)

【公開番号】特開 2020-34069 (P2020-34069A)

【公開日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【年通号数】公開・登録公報 2020-009

【出願番号】特願 2018-160311 (P2018-160311)

【国際特許分類】

F 1 6 L 23/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 L 23/02 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 2 日 (2020.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

— 水平方向に延びる 2 本の配管のフランジ継手の締結方法であって、

— 一方の配管のフランジ継手の下半部に設けられた第一のボルト穴と、それに対応する位置の他方の配管のフランジ継手に設けられた第二のボルト穴に第一のリーマピンを挿入する工程と、

前記一方の配管のフランジ継手の下半部に設けられ前記第一のボルト穴とは異なる第三のボルト穴と、それに対応する位置の前記他方の配管のフランジ継手に設けられた第四のボルト穴に第二のリーマピンを挿入する工程と、

前記一方の配管のフランジ継手と、前記他方の配管のフランジ継手との間にガスケットを挿入する工程と、

前記第一のリーマピン及び前記第二のリーマピンに前記ガスケットを載せる工程と、

前記 2 本の配管のフランジ継手に設けられた前記第一のボルト穴、前記第二のボルト穴、前記第三のボルト穴、及び前記第四のボルト穴以外の複数のボルト穴に締結ボルトを挿入し、前記一方の配管のフランジ継手、及び前記他方の配管のフランジ継手を仮締結する工程と、

前記第一のリーマピン及び前記第二のリーマピンを抜き取り、締結ボルトを挿入して前記一方の配管のフランジ継手、及び前記他方の配管のフランジ継手を締結する工程と、を有する、

フランジ継手の締結方法。

【請求項 2】

前記第一のリーマピン及び前記第二のリーマピンの本体部分の径は、前記第一のボルト穴、前記第二のボルト穴、前記第三のボルト穴、及び前記第四のボルト穴と同径である、請求項 1 に記載のフランジ継手の締結方法。

【請求項 3】

前記ガスケットの内径は、前記 2 本の配管のフランジ継手の内径と同径であり、かつ前記ガスケットは前記複数のボルト穴と外接する、

請求項 1～2 の何れか一項に記載のフランジ継手の締結方法。

【請求項 4】

前記 2 本の配管のフランジ継手は、レイズドフェイスタイプである、

請求項 1～3 の何れか一項に記載のフランジ継手の締結方法。

【請求項 5】

前記ガスケットは、渦巻き型ガスケットである、

請求項 1～4 の何れか一項に記載のフランジ継手の締結方法。

【請求項 6】

前記第一のリーマピン及び前記第二のリーマピンの表面は滑らかである、

請求項 1～5 の何れか一項に記載のフランジ継手の締結方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するために、本発明は、水平方向に延びる 2 本の配管のフランジ継手の締結方法であって、一方の配管のフランジ継手の下半部に設けられた第一のボルト穴と、それに対応する位置の他方の配管のフランジ継手に設けられた第二のボルト穴に第一のリーマピンを挿入する工程と、前記一方の配管のフランジ継手の下半部に設けられ前記第一のボルト穴とは異なる第三のボルト穴と、それに対応する位置の前記他方の配管のフランジ継手に設けられた第四のボルト穴に第二のリーマピンを挿入する工程と、前記一方の配管のフランジ継手と、前記他方の配管のフランジ継手との間にガスケットを挿入する工程と、前記第一のリーマピン及び前記第二のリーマピンに前記ガスケットを載せる工程と、前記 2 本の配管のフランジ継手に設けられた前記第一のボルト穴、前記第二のボルト穴、前記第三のボルト穴、及び前記第四のボルト穴以外の複数のボルト穴に締結ボルトを挿入し、前記一方の配管のフランジ継手、及び前記他方の配管のフランジ継手を仮締結する工程と、前記第一のリーマピン及び前記第二のリーマピンを抜き取り、締結ボルトを挿入して前記一方の配管のフランジ継手、及び前記他方の配管のフランジ継手を締結する工程と、を有するものである。